

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	令和8年 月 日 (第2回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	姫路市 (282014)
地域名 (地域内農業集落名)	香寺町田野 (田野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	34.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	29.6 ha
② 田の面積	33.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	- ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	- ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当集落は(株)アグリ香寺が中心的な担い手となり、農地の多くを中間管理機構を通じた貸借により耕作している。10年後の見通しとして、現在(株)アグリ香寺が耕作している農地は継続しつつ、個人耕作の農地についても集積・集約を進めて行く予定である。(株)アグリ香寺(田野支店)における当集落の農業従事者の多くが70歳以上であることから、後継者の確保と育成をしていく必要がある。また、不在地主の増加により貸し手と借り手の意思疎通が図りづらくなることから、農地の荒廃が懸念される。今後の農地の維持管理においてどのようにすれば良いのか課題が残る。経営体(法人):1経営体、主な作物:水稲、麦、大豆(白)、小豆、たまねぎ

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

(株)アグリ香寺(田野支店)の経営として水稲、麦、大豆(白)、小豆のブロックローテーションでの栽培体系が確立していることから今後も維持していくよう努める。また、少人数での作業が行えるよう、ドローン等のスマート農業を進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
当集落内の農地は概ね担い手である(株)アグリ香寺へ集積、集約している。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	54 %	将来の目標とする集積率	64 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現在、個人耕作している農地においても農地中間管理機構を活用し、(株)アグリ香寺に農地の集積・集約を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
当集落内の農地は概ね担い手である(株)アグリ香寺へ集積・集約している。
(2)農地中間管理機構の活用方法
当集落内の農地の多くを中間管理機構に貸付し、(株)アグリ香寺と個人水稲農家が受け手として耕作している。今後は個人耕作の農地についても将来的な規模縮小や離農を視野に入れた集積をし、機構への貸付を予定している。
(3)基盤整備事業への取組
当集落の約20%がパイプライン未設置となっており、継続してパイプライン整備を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
(株)アグリ香寺(田野支店)において後継者の確保と育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる作業については費用対効果を検証し、随時情報収集をしつつ委託を検討している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農未用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシやシカの被害防止の為、防止策を設置しているが、一部未設置があるので速やかに設置を進める。
- ③スマート農業については費用対効果などの検証を行い、導入の検討を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稲、麦、大豆、小豆	18.4 ha	ha	水稲、麦、大豆、小豆	18.4 ha	ha	A	
利用者		水稲	6.9 ha	ha	水稲	6.9 ha	ha	B	認農予定
利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	C	
利用者		水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	D	
利用者		水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	E	
利用者		水稲	0.04 ha	ha	水稲	0.04 ha	ha	F	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		25.9 ha	0 ha		25.9 ha	0 ha		

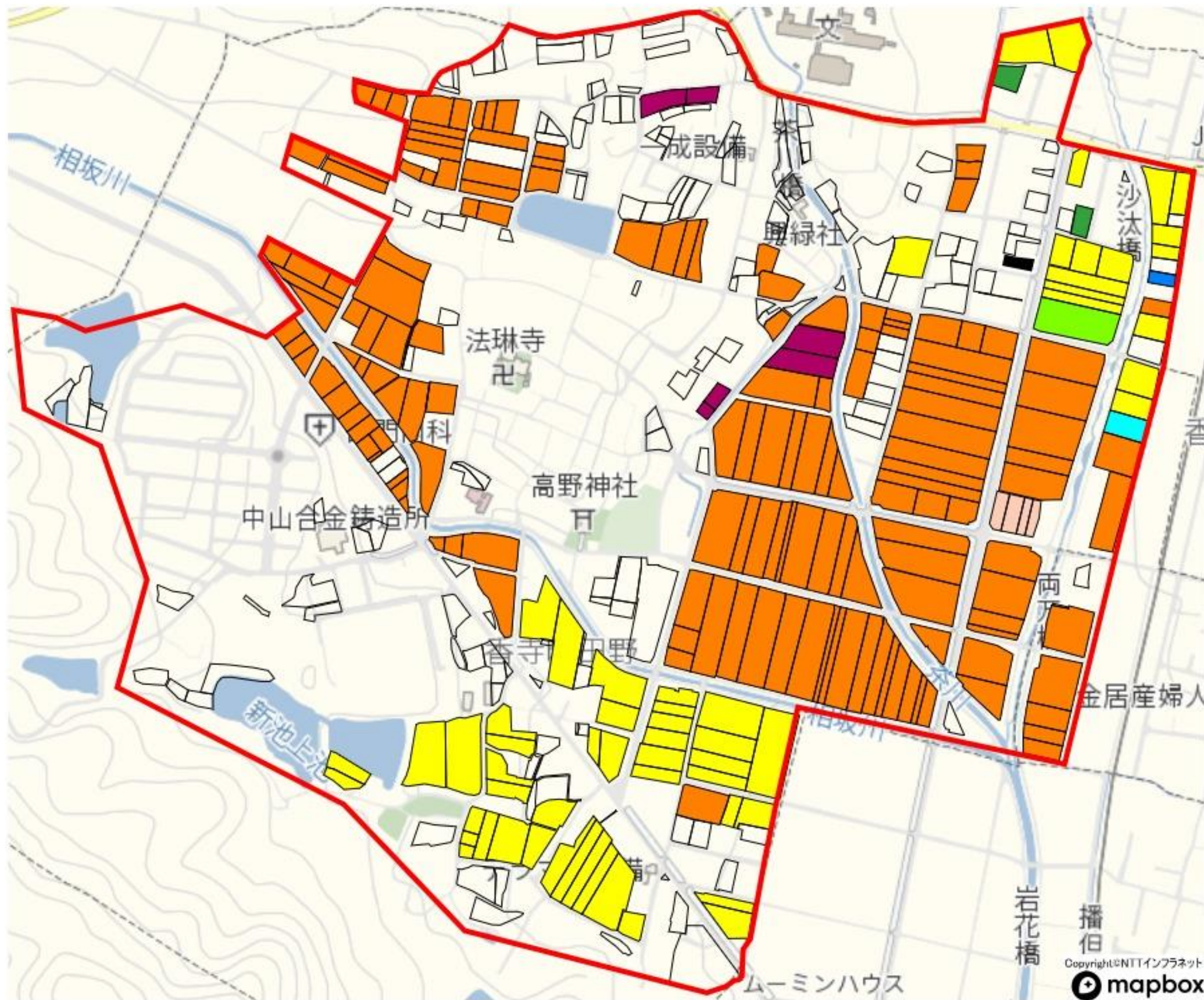
注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。



目標地区(素案)
目標地区(現状)

314_田野

Orange	A
Yellow	B
Light Green	C
Green	D
Light Blue	E
Blue	F
Purple	G
Pink	H
White	今後検討
Black	除外予定